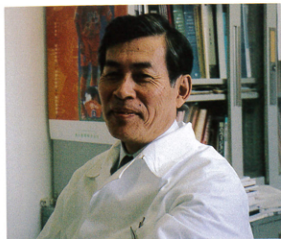


顧問 村上 俊樹



今、ヨット部の年表を作り直すために、昔のヨット部の資料を引っ張り出して読み返しています。OBの先生方の、昔の学生時代の顔がついこの間のこのように、よみがえってきます。創部当時(昭和48年)は、僕自身が若く(32歳)講師でした。学生と

それほど年齢が離れていなく、学生と同じ気分がヨットに乗っていました。学生とは、夜の街にもよく飲みに行き、大騒ぎをしていました。今は、納会等のコンパ以外は学生と飲むこともなくなってしまいました。少し寂しいですね。

現在、大学のクラブの現状は入学してくる学生数の減少と体育会系のクラブ離れによって、各クラブ共に部員獲得に苦労しています。ヨット部は、幸いにもそれほど減らずに毎年コンスタントに入部者があります。今後も、部員数の増減の波はあっても、順調にいくと思います。平成21年には、2巡目の新潟国体が開催される予定になっています。それに間に合うようにヨットハーバーが計画されています。このヨットハーバーができれば、本学のヨット部も、そこに移転すると思います。これまでよりもずっと良い環境で、練習ができるようになると思っています。

ヨット部は、創部以来今年で31目を迎えて、OB会員も70名を超え、デンタル優勝を4回もしている名実共に歴史と伝統あるクラブになっています。毎年数名のOBを迎え、ますます発展していくと思います。今後共に、会の目的である会員の親睦と後輩の援助のためにみんな力で合わせてほしいと思います。



浜茶屋社長あいさつ

浜茶屋社長 長井 美雄枝

歯科大大ヨット部創立以来の永い永いお付き合いとなり、ありがたいことと感謝しております。

毎年フレッシュな新入部員を迎えるのも楽しみです。卒業されてゆかれたOBの方々が各地でご活躍され、時折り元気な顔をみせて下さったり、便りが届いたり本当に嬉しいことです。

私もいつの間にか八十路を迎えましたが、若い皆様方に助けられながら過ごしております。



目次 Contents

- ヨット部30周年記念に寄せて
顧問 村上 俊樹 1
- 浜茶屋社長あいさつ 2
- 思い出の写真 5
- 亀井さんの思い出 27
- 活躍! 人命救助 29
- ヨット部レース年表・表彰状
(デンタル順位) 30
- ヨット部OB会 名簿 33
- 思い出のMAP 59

























～私達はいつまでも亀井さんを忘れません！～

亀井直樹さんは、平成2年度ヨット部主将であり、現在のヨット部に非常に「貢献」してくれた先輩です。ヨット部引退後、大学6年の平成3年11月16日、角田浜付近で不慮の交通事故によりごこなされました。

亀井さんは私の一つ上の先輩で、ヨット部で一番長い付き合いになります。亀井さんは私の兄弟的存在であり、色々教えてもらい、良くケンカもしました。

私達はヨットの知識もなく、東京校の春合宿に亀井さんと僕と元松さんと行き、寒い中東京校の滞中にいじめられながらもヨットについて学んできました。雪の降る中ヨットの中で亀井さんと新副将もデントルで表彰状をとれるようになると言い合い、夕凧の出る合宿所で僕と亀井さんと頑張りました。

それまで、レーキ、ヒールの形状、テンションのかけ方、チューニング等、新副将では何も教えていなかったことが毎日厳しく教えられ、毎日が新しいことを学ぶ連続でした。

合宿で1日フリーの時間が有り、毎日、生玉子とごはんばかり食べる生活が続いていたので、たまには焼肉を食べに行こうと焼肉屋に行ったのですが、新副と違い湘南の焼肉屋は高い！カルビー皿1,000円もしたので、私達は金がなくて食べられず、私はホルモニー皿350円にごはん、亀井さんは野菜焼一皿200円にごはん、スープで、二人で食べて、それも(ごはんは焼肉のタレをかけて)食べました。食べながら「将来は焼肉屋で、値段を考えず好きなだけ食べられるようになろうな」と二人で誓い合いました。

その合宿の最後に関東医科歯科ヨットレースがあり、私は亀井さんと乗り、3位になり、私も生まれて初めてヨットレースで賞状をもらい、本当に嬉しかったです。

新副に乗り、新入生の部員を見たらず人はいないくなり、速良く山崎君が入部してくれたので6人になりましたが、6人では当時船台も(タイヤが付いているのがなかった)1なく、6人では身も持ち上げられないので、なんとかお金を工面して、タイヤが付いた移動式の船台を買ひ、亀井さんと感激していました。その後も新副を強くしよう、と亀井さんはヨットの技術面で良く勉強し、山崎が一年生の時「お前はヨット部の主将ではデントル優勝しなければならぬ、だから一年から英才教育だ」と、私と二人で「やさしく」慰めました。

ただ、亀井さんは、部のマネージメントが全くなくて、良くケンカをしたのもうなるとは良い思い出です。

その年のデントルに私は亀井さんと二人で出て、台風で海が荒れている中「田艇(ボイ！)で出たのですが、もう少しでゴールという所でサイドステータとび、パビリベットがとび、車のボソントクのように聞き、沈しました。二人で泣きながら、なんとか起こすぞと起こそうとしましたが、無残にもセンターボードが落ち、「終わっ～」と二人でボードの上で泣きました。そうしているうちに、どんだん流され、さらに船のエアタンクに水が入って来て、だんだん沈み出し、二人で本当に救助艇が来るのだろうかと思配になり、荒れた海の中、船につかりながら「どうして聞いていなかったな」と言いながら助けを待った時もありました。

私のヨット部の思い出に、ほとんど亀井さんがいます。



私が5年生の1月、突然の不慮の交通事故で亀井さんが去ってしまい、本当にショックでした。私の主将としての初大仕事で亀井さんの葬式でした。本当に残念でした。

～天国の亀井さんへ～

もう、あれから10年以上過ぎましたね。おかげさまで、仕事も順調にいきます。約束どおり亀井さんの分も頑張っていますよ。

あの、女風呂のぞきや、パンティーどろぼうをしていた山崎も現在は卒業し、立派に歯科医師として地域医療に貢献しているようです。安心して下さい。

これからもヨット部を天国より応援して我々を見守って下さい。

合掌 高橋 健一

私が大学1年生の時、亀井さんは4年生の先輩でした。メガネが良く似合ひ、いつもこやかで冗談も親父気、笑い声が絶えず飛びかっていたことを思い出します。しかし、海の上での亀井さんはまるで別人でした。ヨットを語れば上級生の先輩を上回る知識を持ち、ヨットの技術はまさにSuper Techniqueでした。そうした先輩に憧れ自分も早くヨットに乗って亀井さんにヨットについて教えていただきたいと思っていました。

それも早い時期に叫びました。なぜなら、その時の部員数は7人しかおらずナイブの古い艇(木でできた艇)が余っていたからです。その艇で亀井さんと出陣し、いよいよ練習です。オラ山崎シート引んくよー！という風に練習が飛んできました。タックだ！と自分なりにうまくできたかなと思っていても何だ！今のタックは！と、やはり練習が飛んできました。この様に日々繰り返す中で何度か練習をかわしましたが、その弾みに海にドボンと落ちることもありました。その頃か、高橋先輩と鬼の亀井さんと呼んできました。

練習が終わると必ず、がんばったねー山崎と声をかけてくれました。今日はここがよかったな！とよく励ましてくれました。

そのお陰でヨットの面白さ、奥の深さを亀井さんの背中から感じることができました。

470に初めて乗ったときのスキッパーは亀井さんですごく怖かったことを覚えています。

翌年の5月合宿で嵐の翌日でウネリがひどく風も強い日に出ました。山崎トラッピーズで出ろ！と言われたが、いくら鬼の亀井が出ると言っても出ることができませんでした。その事が悔しく必死でマスターしました。時にはヨットマニアの亀井さんに、ヨットはイメージが大知だ！とビデオを貸してくれることもありました。

その様な亀井さんには刺激されその頃かあ、いつかは、鬼の亀井に追い付き越えたいと思いはじめました。

亀井さんが引退後、不慮な事故があり、大事な人を失った悲しみは腑かたいたのがありましたが、部員一同一休と全力で練習に励みました。

その様な先輩のお陰もあり、私自身のヨットに懸ける情熱がHeatし、優勝に導かれたのではないのでしょうか。

山崎 保彦





釣りの学生未明に
海釣りの学生未明に
学生1人が遭難

釣りの学生未明に
海釣りの学生未明に
学生1人が遭難



釣りの大学生1人未明
2人落ち1人救助
眼内今夏初の海の事故

釣りの大学生1人未明
2人落ち1人救助
眼内今夏初の海の事故

海釣りの学生未明に
学生1人が遭難

釣りの学生未明に
海釣りの学生未明に
学生1人が遭難

感謝状

日本歯科大学新潟歯学部
ヨブト部 殿

あなただけには早急な対応が不可欠な
緊急事態に、無事無事と見守り
中を待たせて下さり、心より御礼を申し上げます。
かたが、緊急時に、迅速な救助
に、心より御礼申し上げます。
一石も重く、心より御礼申し上げます。
平成25年7月7日
新潟県長岡市 村松 圭子

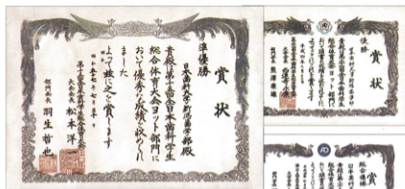
表彰状

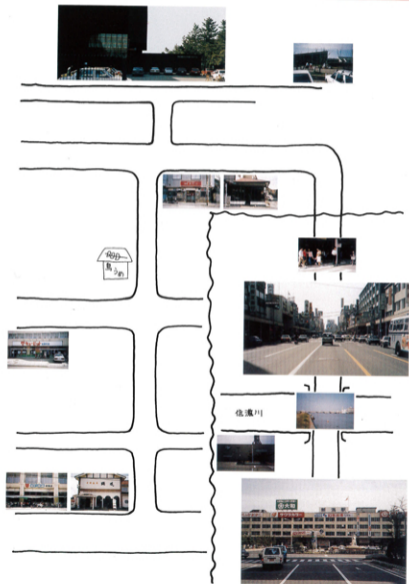
日本歯科大学新潟歯学部
ヨブト部 殿

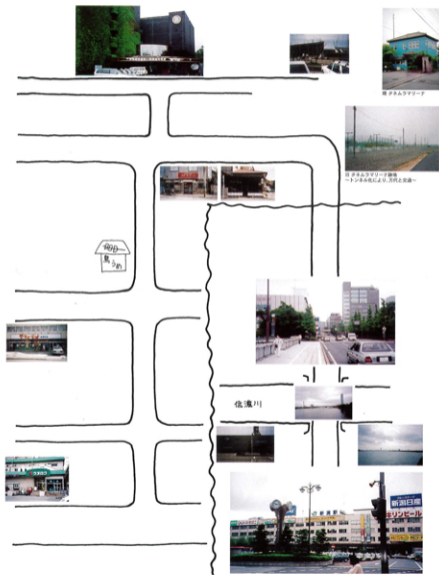
あなたがたは早急な対応が不可欠な
緊急事態に、無事無事と見守り
中を待たせて下さり、心より御礼を申し上げます。
かたが、緊急時に、迅速な救助
に、心より御礼申し上げます。
一石も重く、心より御礼申し上げます。
平成25年7月7日
新潟県長岡市 長楽 貴義人



年	主将・部員数	順位	備考	年	主将・部員数	順位	備考
1973	太田 耕造 (S48) 2年生7名	不参加	競走艇でブリーチで練習開始 スナイプは船2艘より乗り入	1989	木松 靖雄 (H 1)	総合16位	人船競走艇より練習開始 春合宿(筑崎)
1974	太田 耕造 (S49) 12名	東京と合同参加	春合宿(蒲郡)	1990	亀井 尚樹 (H 2) 12名	総合11位	人船競走艇より練習開始 春合宿(筑崎)
1975	後藤 悦郎 (S50)	東京と合同参加		1991	高橋 健一 (H 3) 22名	総合10位	競走艇練習開始 競走艇練習開始
1976	藤田 力 (S51)	東京と合同参加		1992	半田 恵子 (H 4) 23名	総合優勝	春合宿(筑崎)、 2000年総合優勝(筑崎)
1977	高橋 秀夫 (S52)	オープン参加	デンタル新着艇中継参加 オープン参加	1993	山崎 保彦 (H 5) 18名	総合優勝	競走艇練習開始 競走艇練習開始
1978	石成 宜良 (S53)	オープン参加		1994	笹原 大輔 (H 6) 25名	総合優勝	スナイプ新艇購入、 江頭・中村固体出場
1979	岸 民祐 (S54)	8位	中里氏監督就任	1995	広瀬 知花 (H 7) 25名	総合12位	OB会総会(東京)
1980	峰岸 孝安 (S55) 18名	8位	夏合宿(蒲郡)	1996	川口 泰 (H 8) 23名	総合2位	OB会総会(中止)
1981	倉沢 洋一 (S56)	6位	春合宿(土浦霞ヶ浦、 南茨城)	1997	酒井 秀 (H 9) 22名	総合優勝	OB会総会・祝勝会 (新潟)
1982	対比地 悟 (S57)	準優勝	新艇(GH)購入、 第一回新大との交流戦	1998	永田 勝久 (H10) 19名	総合5位	OB会総会(東京)
1983	岸 祐二 (S58) 23名	総合6位	春合宿(筑崎、東京と合同、 (蒲郡)、10周年記念(イタリア)参加)	1999	津田 剛 (H11) 16名	総合4位	新レスキュー艇購入 OB会総会(新潟)
1984	渡田 健 (S59) 27名	総合6位	競走艇練習開始 競走艇練習開始	2000	川上 慎一 (H12) 16名	総合2位	OB会総会(広島)
1985	近藤 和也 (S60) 22名	総合10位	新レスキュー艇購入 関東医歯薬総合10位	2001	安藤 善亮 (H13) 15名	総合9位	OB会総会(新潟)
1986	島田 洋 (S61)	総合12位	関東医歯薬総合16位	2002	大島 正光 (H14) 16名	総合11位	OB会総会(東京)
1987	石上 寛 (S62) 26名	総合9位	関東医歯薬総合15位	2003	成松大一郎 (H15) 20名	総合20位	
1988	田端 貴章 (S63) 14名	総合12位	東京春合宿参加1名 関東医歯薬総合15位				







編集後記

我がヨット部も既に30周年を迎え、伝統のあるクラブになりました。その背景には、先輩方の並々ならぬ苦勞や喜び、悲しい出来事乗り越えた強さ、その歴史の上に伝統が成り立っているんだと皆様の写真を眺めながら感じましたし、それを何とかこの一冊に集約したいと思いました。しかしながら、何かと製作上に限りがあり、全ての先生方にとって必ず満足いくものであるかは疑問ですが、少しでも皆様の思い出が載るような構成にしました。

会員の先生方には、写真やコメント、その他に譲り御協力頂き感謝申し上げますと共に、今後のヨット部の発展により一層の御支援、御配慮下さいます様、お願い申し上げます。

2003年9月

酒井 秀

編集あとがき

ヨット部初めてのアルバムいかがでしたでしょうか。

時間と資料に制約があり大変でしたが、何とか発行にこぎつけられました。

酒井秀君に、毎月私の診療所に来てもらい、計画・編集作業をしました。みなさんから写真と資料の集まりが非常に悪く、直接電話したりして集めさせていただきました。私は、現役のときに”嫌われていたためか”電話しても切られたり(金子、お前だよ!)連絡くれなかつたり(平田!)なかなか大変な作業でした。私も編集作業をしながら昔を思い出し、部員が少ないところから持ち直し、亀井さんが亡くなり、突風で船が流され失意のどん底にいたところ、当時OB会会長の中島先生はじめ、新潟のヨット仲間に加まされ、かつ援助いただき、2週間で練習再開できたことなど、今考えても「良くやっていたな。後輩たちも良くやってくれたな。」とつくづく思いました。

後輩たちもご立派になられて、地域医療に貢献していて感激もしました。(江頭、山崎、その他)写真を拝見して以前よりさらに美人になっていた(西山ほか、会いたい!!)。各年代の先生方のご苦勞も良くわかり、大変勉強になりました。

編集作業も大変ながら楽しんでやっていました。(本当は面倒なことは、酒井先生がやっていたのですが)

次回は、60周年のときにまたアルバムを作ってくださいいね。(もうボクはしません!)

最後に、毎回福島から仙台まで来てくれた酒井秀先生、(株)千葉出版印刷の方々に感謝申し上げます。

2003年9月

高橋 健一

日本歯科大学新潟歯学部 ヨット部OB会30周年記念誌

2003年10月1日 発行

編集発行 日本歯科大学新潟歯学部
ヨット部OB会

印刷所 株式会社千葉出版印刷
宮城県仙台市青葉区高松2-11-43
電話 (022) 272-1151(代表)